

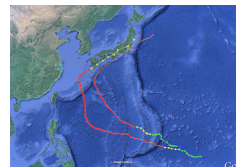
こっこめ通信 11 2014

「知ることの重要性」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

10月に入って18号19号と立て続けに日本に接近した台風。八丈島は進路から外れて大きな被害はありませんでしたが、18号では29.7m/s、19号では26.0m/sの最大瞬間風速を観測しています。ともに週末の接近だったため、定期船や定期便の欠航など、観光業にとっては大きな痛手となりました。今年はこれで終わりにしてほしいですね。



さて今回は、「初記録・久々・常連になった鳥」「東京都の保護上重要な野生生物種(島しょ部)」のお話です。

初記録・久々・常連になった鳥

記録を積み重ねていくことはとても大切なこと。特に大陸と離れている島ではなおさらのことです。ビジターセンタースタッフも最近は鳥の撮影をする人が増え、発見情報も多くなってきたので一部紹介します。

10月12日、大賀郷園地で見つけたのは「**イナバヒタキ**」。地面に下りて食べ物を探していました。尾羽周辺を確認したところ、尾羽の基部が白くないこと、黒色部の広さ、中央部が少しグレーがかっていることから、第1回冬羽ではないかと判断しました。**八丈島初記録**です。

10月23日、ビジターセンターを出てすぐの築山で、イネ科の穂を食べていたのは「**ベニヒワ**」。島での記録は少なく、ビジターセンターでも2009年1月18日に植物公園で観察しているだけです。山階鳥類研究所には、1933年12月22日に大賀郷で採集された標本が残っています。この日はずっと同じ場所にいましたが、翌日にはいなくなっていました。赤いベレー帽がとてもかわいかったです。

10月25日に公園内でホルトノキの実を食べていたのは「**アオバト**」。公園内には約10年ぶりに現れました。とっても**お久しぶり**です。

「**マガン**」は10月9日に中之郷地区のおおぞら保育園や三原中学校で3羽目撃され、16日には大賀郷中学校の校庭に2羽が降り立ちました。2012年秋から毎年渡ってきてくれているので、今後も**常連**として渡ってきてほしいですね(春の北上時に見られた年もあります)。



「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

東京都の保護上重要な野生生物種（鳥しょ部）

	目	科	種	伊豆諸島	環境省	備考	
哺乳類	コウモリ目	キクガシラコウモリ科	キクガシラコウモリ	*	-		
			コキクガシラコウモリ	*	-		
		ヒナコウモリ科	ユビナガコウモリ	DD	-		
	ネコ目	アシカ科	ニホンアシカ	EX	CR		
ネズミ目	ネズミ科	アカネズミ（三宅島個体群）	LP	-			
鳥類	カモ目	カモ科	オシドリ	CR	DD	渡り	
	ハト目	ハト科	カラスバト	EN	NT	留鳥	
	ミズナギドリ目	アホウドリ科	コアホウドリ	CR	EN	通過	
			クロアシアホウドリ	NT	-	上陸	
			アホウドリ	VU	VU	通過	
		ミズナギドリ科	オオミズナギドリ	NT	-	繁殖	
			ウミツバメ科	ヒメクロウミツバメ	VU	VU	繁殖
				コシジロウミツバメ	DD	-	通過
		オーストンウミツバメ	NT	NT	繁殖		
	カツオドリ目	カツオドリ科	カツオドリ	NT	-	通過	
		ウ科	ヒメウ	VU	EN	渡り	
	ペリカン目	サギ科	ミゾゴイ	CR	VU	渡り	
			ササゴイ	VU	-	渡り	
			アマサギ	NT	-	渡り	
			チュウサギ	VU	NT	渡り	
			コサギ	NT	-	渡り	
			クロサギ	CR	-	渡り	
	アマツバメ目	アマツバメ科	アマツバメ	NT	-	夏鳥	
	チドリ目	シギ科	ヤマシギ	NT	-	渡り	
			アカエリヒレアシシギ	DD	-	渡り	
		ウミスズメ科	ウミスズメ	DD	CR	通過	
	カンムリウミスズメ	VU	VU	繁殖			
	タカ目	ミサゴ科	ミサゴ	EN	NT	渡り	
		タカ科	サシバ	CR	VU	渡り	
	フクロウ目	フクロウ科	ノスリ	VU	-	渡り	
			オオコノハズク	EN	-	渡り	
			アオバズク	EN	-	夏鳥	
	トラフズク	NT	-	渡り			
	キツツキ目	キツツキ科	ミヤケコゲラ	VU	-	？	
	ハヤブサ目	ハヤブサ科	ハヤブサ	EN	VU	渡り	
	スズメ目	シジュウカラ科	ナミエヤマガラ	EN	EN		
			オーストンヤマガラ	EN	EN	留鳥	
			ムシクイ科	イイジマムシクイ	VU	VU	夏鳥
			センニユウ科	ウチャヤマセンニユウ	EN	EN	？
			ミソサザイ科	モスケミソサザイ	EN	EN	留鳥
			ヒタキ科	トラツグミ	NT	-	留鳥
				アカコッコ	EN	EN	留鳥
				タネコマドリ	VU	VU	留鳥
				オオルリ	*	-	渡り
			アトリ科	ハギマシコ	NT	-	渡り
ホオジロ科			クロジ	NT	-	渡り	
爬虫類	カメ目	ウミガメ科	アオウミガメ	VU	VU		
			アカウミガメ	VU	EN	産卵	
			タイマイ	DD	EN		
	トカゲ目	オサガメ科	オサガメ	DD	-		
			トカゲ科	オガサワラトカゲ	DD	NT	
		ナミヘビ科	オカダトカゲ	EN	LP		
			ジムグリ	CR	-		
			アオダイショウ	EN	-	移入	
			シマヘビ	VU	-		
シロマダラ	DD	-					
クサリヘビ科	ニホンマムシ	EN	-				

2014年3月、東京都が2011年に公表した「東京都の保護上重要な野生生物種（鳥しょ部）～東京都レッドリスト～2011年版」の解説版となるレッドデータブック東京2014を作成しました。

そこで今回はその中の哺乳類、鳥類、爬虫類の八丈島における生息状態を調べてみました。東京都レッドリストの鳥しょ版の伊豆諸島には、哺乳類5種、鳥類41種、爬虫類11種の57種がリストアップされています（左表）。その中で八丈島では、哺乳類1種、鳥類40種、爬虫類7種の記録があります（種名に色塗り）。

「コキクガシラコウモリ」は島にもともと棲む唯一の哺乳類で、“八丈島産集団”については島嶼隔離による強度の矮小化が進んでいる”との研究もされています。住处となる防空壕の埋め立てなどによる個体の減少が危惧されています。

「オカダトカゲ」についてはネズミ駆除のために導入したイタチの捕食による個体数の減少やニホントカゲの移入による雑種化など様々な問題があります。

「ニホンマムシ」の減少は売買するための捕獲によるものではないかと考えられています。「アオダイショウ」は移入種で、島の中で増え始めています。

「アカウミガメ」は、以前は末吉地区の砂浜に産卵に来ていましたが、砂浜が消失してしまい産卵が途切れていました。しかし1999年に人工砂浜の底土海岸で産卵が行われ、その後、数年に1回、1頭が産卵のため上陸しています。

鳥類は渡りの種が多く、年によって数も変わります。産卵する鳥の場合は繁殖場所の保全が重要になってきます。

表示	カテゴリー
EX	絶滅
EW	野生絶滅
CR	絶滅危惧ⅠA類
EN	絶滅危惧ⅠB類
VU	絶滅危惧Ⅱ類
NT	準絶滅危惧
DD	情報不足
LP	絶滅のおそれのある地域個体群
*	留意種

備考表示	
留鳥	一年中島にいる
夏鳥	夏に島で繁殖する
繁殖	島で繁殖する海鳥
渡り	渡りの時に立ち寄る
通過	海上を通過する
?	過去に記録がある
上陸	今後繁殖の可能性

カテゴリーの詳細は環境省ホームページをご覧ください。
http://www.biodic.go.jp/rdb/rdb_f.html



コキクガシラコウモリ



オカダトカゲ



アカウミガメ



アカコッコ(幼鳥)

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。10月は参加者がいなかったため、スタッフが28日に調査しました。

八丈植物公園季節調査（平成26年第10回） 参加者：VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			草本			シダ植物		
1	アオツツラフジ	熟した実	32	ノコンギク	花	1	ウチワゴケ	
2	アオノクマタケラン	実	33	ハキダメギク	花	2	オオイタチシダ	
3	アキノノゲシ	花	34	ハチジョウアザミ	花	3	オオタニワタリ	
4	アシタバ	実	35	ハハコグサ	花	4	オニヤブソテツ	
5	アシボソ	花	36	ヒナギキョウ	花と実	5	カニクサ	
6	アツバスマシ	実	37	ヒナタイノコヅチ	実	6	スギナ	
7	イガガヤツリ	実	38	フウトウカズラ	実	7	タチクラマゴケ	
8	イヌタデ	花	39	ヘクソカズラ	実	8	タチシノブ	
9	イワニガナ	花	40	メヒシバ	花と実	9	タマシダ	
10	ウスベニニガナ	花	41	メリケンカルカヤ	花	10	ナチシケシダ	
11	エダウチチヂミザサ	花と実	木本			11	ノキシノブ	
12	オオアレチノギク	花				12	ハチジョウカナワラビ	
13	オオバコ	実	1	イタビカズラ	実	13	ハチジョウシダ	
14	オニタビラコ	花	2	オオバヤシャブシ	実	14	ハチジョウベニシダ	
15	オヒシバ	実	3	オオムラサキシキブ	実	15	ハマハナヤスリ	
16	カタバミ	花と実	4	ガクアジサイ	実	16	ヒトツバ	
17	カラムシ	実	5	カラスザンショウ	実	17	ホシダ	
18	クズ	実	6	シチトウタラノキ	若い実	18	ホラシノブ	
19	コブナグサ	花	7	シマクサギ	若い実	19	ミゾシダ	
20	コミカンソウ	花と実	8	シマモクセイ	花	20	ヤマイタチシダ	
21	コメヒシバ	花と実	9	スダジイ	実が落ちる	21	ワラビ	
22	シチトウスミレ	実	10	トベラ	実	今回も、申し込みがなかったのでスタッフだけで調査を行い、シダ植物21種を含む81種の植物を観察しました。園路脇にはアズキガイの死殻が多く見られ、秋の深まりを告げるモズの高鳴きも聞かれました。		
23	ススキ sp.	花と実	11	ハゼノキ	実と紅葉			
24	セイヨウタンポポ	花	12	ハチジョウキブシ	花芽			
25	センニンソウ	実	13	ヒサカキ	熟した実と蕾			
26	タチスズメノヒエ	実	14	ヒメユズリハ	熟した実			
27	チヂミザサ	花と実	15	ホウライカズラ	実			
28	ツルソバ	花	16	ホルトノキ	実			
29	ツワブキ	花	17	モチノキ	実			
30	ナキリスゲ	実	18	ヤブツバキ	実が割れる			
31	ネズミノオ	花	19	ヤブニッケイ	実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、数が少なくなってしまった「ニホンマムシ」にスポットを当ててみたいと思います。



ニホンマムシ *Gloydius blomhoffii*

トカゲ目クサリヘビ科、北海道・本州・四国・九州などに分布。大きさは60cm前後、毒蛇として知られています。どのように島に入り込んだか不明ですが、古くから島では確認されています。

以前はたくさんいましたが、大量に捕獲された時期があり、現在はほとんど姿を見ることはなくなっていました。

2014 11

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
			 この色の日は 特別行事があります			1 ガイドウォーク 05 : 14 12 : 46 18 : 48
2 ガイドウォーク 00 : 11 06 : 43 13 : 43 19 : 57	3 ガイドウォーク 01 : 52 07 : 57 14 : 27 20 : 46	4 03 : 01 08 : 55 15 : 04 21 : 28	5 03 : 56 09 : 42 15 : 38 22 : 06	6 04 : 45 10 : 24 16 : 10 22 : 43	○立冬 7 05 : 29 11 : 01 16 : 41 23 : 19	8 ガイドウォーク 06 : 10 11 : 36 17 : 12 23 : 54
9 ガイドウォーク 植物公園季節調査会 06 : 50 12 : 10 17 : 43	10 07 : 27 00 : 29 18 : 13 12 : 43	11 08 : 05 01 : 05 18 : 45 13 : 18	12 08 : 44 01 : 42 19 : 18 13 : 57	13 09 : 28 02 : 21 19 : 58 14 : 48	14 10 : 21 03 : 07 20 : 57 16 : 07	● 15 ガイドウォーク 11 : 26 04 : 04 22 : 56 18 : 03
16 ガイドウォーク 秋の特別行事 「鴨川林道自然観察会」 12 : 33 05 : 20 19 : 28	17 01 : 06 06 : 42 13 : 26 20 : 17	18 02 : 24 07 : 52 14 : 08 20 : 53	19 03 : 17 08 : 45 14 : 43 21 : 26	20 04 : 00 09 : 29 15 : 16 21 : 57	21 04 : 40 10 : 08 15 : 48 22 : 30	●小雪 22 ガイドウォーク 八丈学講座 「ひつつき虫の科学」 05 : 19 10 : 45 16 : 20 23 : 04
23 ガイドウォーク 05 : 58 11 : 21 16 : 53 23 : 40	24 ガイドウォーク 06 : 39 11 : 58 17 : 27	25 07 : 21 00 : 18 18 : 04 12 : 38	26 08 : 05 00 : 58 18 : 45 13 : 21	27 08 : 52 01 : 42 19 : 31 14 : 12	28 09 : 44 02 : 30 20 : 30 15 : 17	● 29 ガイドウォーク 10 : 41 03 : 24 21 : 55 16 : 41
30 ガイドウォーク 11 : 41 04 : 30 23 : 58 18 : 13						

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
11 / 9 (13 : 30 ~ 約1時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

東京文化財ウィーク企画事業 「鴨川林道自然観察会」

東京文化財ウィークの企画事業として、ヘゴ自生北限地を巡り、八丈島らしい自然を楽しみます。
11 / 16 (9 : 30 ~ 約6時間) 小学生以上(低学年は保護者同伴)
ビジターセンター集合・解散 参加費：500円(保険代) 定員：20名

八丈学講座 「ひつつき虫の科学」

毎月行っている八丈学講座。いつのまにかくっついていく「ひつつき虫」はどうしてひつつくの？
11 / 22 (13 : 30 ~ 約1時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

ビデオプログラム

10 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち
11 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島
14 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島
15 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島
16 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2014.11.1 第162号

開館時間 9 : 00 ~ 16 : 45 年中無休(入場無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

小笠原諸島に比べると固有な生きものが少ないですが、保護上重要な生き物はたくさんいます。隔離されている島の環境は壊れやすいものです。島の環境を守りながら、そこに棲む生きものたちもしっかりと守っていききたいですね。(高)